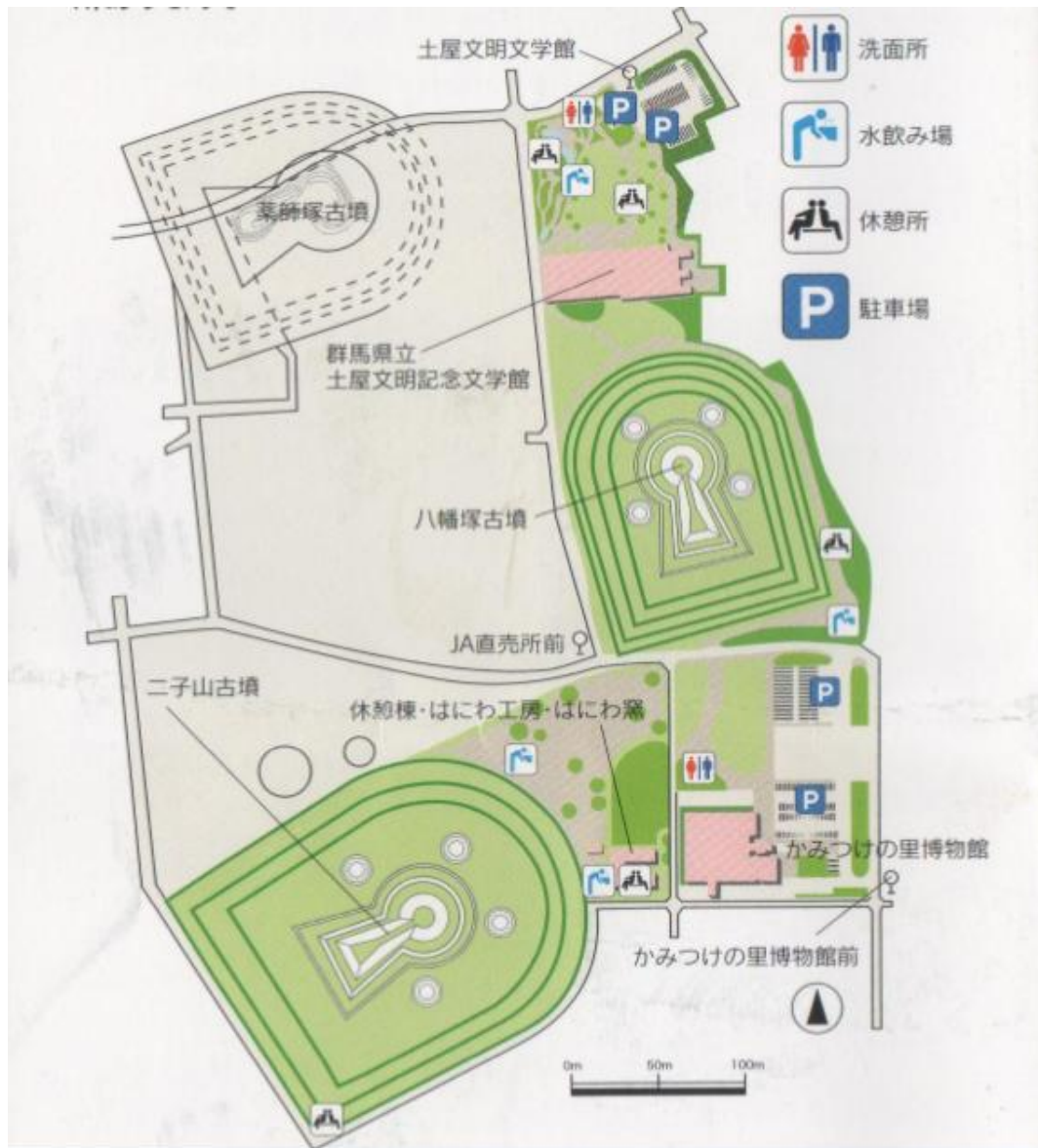


# 八幡塚古墳(高崎市)

はちまんづか

ここは「かみつけの里博物館」で前方に見える高まりが八幡塚古墳





「かみつけの里博物館」リーフレットより

### 八幡塚古墳

八幡塚古墳は、今から1500年前につくられた大きな前方後円墳です。八幡塚古墳は発掘調査の結果にもとづいて、運られた当時の形に復元されました。往時の古墳とは、石と埴輪で飾られ、遠くからも白く浮き立つ横断物だったのです。



**王の眠るひつぎ**  
頂上から内部へ降りると大きな石の棺があります。皇族が眠った巨大な棺です。  
石棺展示室（火曜日、祝日の翌日は閉館）  
見学時間 9:30~10:30



**列になった円筒にはわ**  
幾形のはにわが古墳を囲んで並びます。古墳を墓室から守るマジカルな現象だと考えられます。



**おまつりの場**  
場の中に円い島が4つ作られます。その意味ははっきりしませんが、死者へのおまつりをする場だと推定されます。



**人物・動物はにわを並べた区画**  
当時の様々な儀式の様子がはにわで表されています。宴会や狩猟の様子などの場面がみられます。



**ごわい顔のはにわ**  
古墳の一番外には、面を黄鬼、ごわい顔をした兵士のはにわが並んでいます。古墳を墓室から守るガードマンのはにわです。

八幡塚古墳データファイル：墳丘全長96m／墳丘推定高8m／墓域の全長約190m／埋葬施設①円形石棺②彫刻式石棺／墳土の量14,500m<sup>3</sup>／円筒埴輪の数・推定6,000本／瓦石の数・推定398,000個／出土品（盗掘された様子の遺物）碧玉製鏡玉・ガラス製玉・ガラス小玉・埴輪・埴輪類・埴輪類

「かみつけの里博物館」リーフレットより



(ほどだ)

保渡田・井出にまたがる田園のなかに点在する3つ大きな丘が保渡田古墳群で、これは八幡塚古墳(前方後円墳)



5世紀後半に二子山古墳に続いて築造されたという





## 国指定史跡 保渡田古墳群とは

鎌名山東南の麓、群馬県群馬町保渡田・井出にある3つの前方後円墳の総称。いずれも墳丘の長さ100m級の大型古墳である。5世紀後半に、二子山古墳→八幡塚古墳→薬師塚古墳の順で相次いで造られ、この地に有力な豪族がいたことを示している。



## 八幡塚古墳の復元整備

かつて、この古墳は大きく削られていた。そのため史跡公園の全体計画にあたり、この古墳に限って、造られた時の姿に復元し、活用することが決定された。

5か年にわたる発掘調査結果を基に、古墳に保存用の土を厚く盛って、築造時の姿に復元整備した。



整備前の八幡塚古墳 昭和55年頃 南西より



整備が進む八幡塚古墳 平成9年 北東より



整備が進んだ八幡塚古墳 平成11年3月

## 今から1500年前につくられた 八幡塚古墳

八幡塚古墳は、南東1kmにある三ツ寺1遺跡(巨大な館)に住み、倭名山東南麓・井野川流域を治めた豪族の墓である。当時、群馬県地域(上毛野)は国内でも有力な地域であった。八幡塚古墳の被葬者は、古墳の充実度からみて、この頃、上毛野各地に勢力を持った豪族達のなかでも代表的な人物であったと考えられる。

### ■規模・構造

墳丘は全長96mで3段に造られ、斜面は葎石で飾られる。周囲には、内堀・外堀・外周溝が巡り、それらの間には内堤・外堤が設けられる。

墓域の長さは約190mに及ぶ。内堀の中には4つの島(中島)があり、この古墳の特徴となっている。

### ■埴輪の充実

この古墳には、たくさんの埴輪が並べられていた。外界との垣根である円筒埴輪は、幾重にも列をなして並べられ、その数6000本と推定される。内堤上の2カ所には人物・動物埴輪を置く区画(A区・B区)があり、各々50体以上が並んでいたと考えられる。これは、一つの古墳では最多級の量で、かつ配列状態もわかる重要な資料である。

### ■埋葬施設

遺体を納めた施設は、後円頂部に2カ所存在した。後円部の中心には舟形石棺が据えられた。古墳を築いた豪族本人の棺であろう。その脇には竪穴式石槨(木棺を石で囲んだもの)も発見された。近親者の埋葬施設であろう。

- この古墳に関する情報・遺物は南側の「かみつけの里博物館」に展示されている。



This site is a burial ground of the kings that ruled the southeastern part of the Mt. Haruna in the late of the 5th century. Hachimanzuka-kofun cluster, having three kofun (huge graves) is located in this area. The covered with stones is Hachimanzuka-kofun, which was restored to its original condition by excavations based upon it.

The type of Hachimanzuka-kofun is "zenpo-koenfun" (circle mound joined square one, the type of burial mounds in the kofun-period), which has a length of 96 meters, is surrounded by three layers of burial mounds. The mound is covered solemnly with a great number of many haniwa (pottery in the shape of a cylinder or a man with a shield) are arranged around it to demons. In the top of the mound, the remains of the king in a coffin hollowed out of a big stone. In those days, the greatest sovereign was in "Yamato sovereign" (around Nara prefecture and Osaka) but Kamatsukeno (around Gunma prefecture) was also an important region. And the King is considered to have been a person representing this region.

Around the ground, the habitation of the King, villages and fields are kept in the Kamatsukeno-sato museum of Archaeology, on the south of this ground, exhibits lots of

墳丘は3段に造られ、内堀、外堀、外周溝がめぐり、それらの中には内堤、外堤がある。さらに内堀の中には4つの島(中島)があるのが特徴で墓は後円部に2箇所設置されており、1つが古墳を造らせた豪族本人、もう1つがその近親者であるといわれている



(参考) なお、被葬者である豪族の居館跡は近くの三ツ寺I遺跡であろうと金井塚先生が述べておられました。



盾持ち人埴輪



周囲は内堀、外堀、外周溝により3重に区画され、四つの中島がある











復元埴輪列/内堤上には2カ所の形象埴輪配列区があり、50体以上の人物、動物埴輪が出土したという





## 人物・動物埴輪群像 Man and Animal Haniwa Cluster (A区形状埴輪配列区)

内周の上に、円筒埴輪による区画(約11m×9m)を設け、54体ほどの印象埴輪(人物や動物・遊具などをかたどった埴輪)が置かれていた。

この区画の掘削の調査は1979(昭和54)年に行われたが、出土埴輪の約半分以上は失われた。ここに復元した埴輪は、現存資料や記録画、新たな粘土資料を検討したうえ、推定復元したものである。

前子に集った人々のグループ、立ち姿の人々のグループ、狩りをする人と動物、習習する人や動物のグループなどいくつもの場面が見られ、様々な儀礼の様子を表わしたものだと考えられる。東日本の人物・動物埴輪でも早い時期に属し、かつ最も内容が豊った事例として知られている。

In this area, 54 haniwa (pottery in the shape of a man or an animal or a tool) were arranged. Some custom may not be by them haniwa. For example, a view of a party where ladies are sitting on the chairs. A view of a meeting of a standing man. A scene of hunting wild boars to offer to the gods. A scene of horses and water birds standing peacefully in a bay.

Though there are various views about the meaning that is expressed with the whole clusters of haniwa, they are considered to express the scenes of ceremonies that the king performs.



鳥居の穴九郎平区

平成7年 調査より



1. 騎馬(馬と騎手)の埴輪
2. 騎馬(馬と騎手)の埴輪
3. 騎馬(馬と騎手)の埴輪
4. 騎馬(馬と騎手)の埴輪
5. 騎馬(馬と騎手)の埴輪
6. 騎馬(馬と騎手)の埴輪
7. 騎馬(馬と騎手)の埴輪
8. 騎馬(馬と騎手)の埴輪
9. 騎馬(馬と騎手)の埴輪
10. 騎馬(馬と騎手)の埴輪
11. 騎馬(馬と騎手)の埴輪
12. 騎馬(馬と騎手)の埴輪
13. 騎馬(馬と騎手)の埴輪
14. 騎馬(馬と騎手)の埴輪
15. 騎馬(馬と騎手)の埴輪
16. 騎馬(馬と騎手)の埴輪
17. 騎馬(馬と騎手)の埴輪
18. 騎馬(馬と騎手)の埴輪
19. 騎馬(馬と騎手)の埴輪
20. 騎馬(馬と騎手)の埴輪
21. 騎馬(馬と騎手)の埴輪
22. 騎馬(馬と騎手)の埴輪
23. 騎馬(馬と騎手)の埴輪
24. 騎馬(馬と騎手)の埴輪
25. 騎馬(馬と騎手)の埴輪
26. 騎馬(馬と騎手)の埴輪
27. 騎馬(馬と騎手)の埴輪
28. 騎馬(馬と騎手)の埴輪
29. 騎馬(馬と騎手)の埴輪
30. 騎馬(馬と騎手)の埴輪
31. 騎馬(馬と騎手)の埴輪
32. 騎馬(馬と騎手)の埴輪
33. 騎馬(馬と騎手)の埴輪
34. 騎馬(馬と騎手)の埴輪
35. 騎馬(馬と騎手)の埴輪
36. 騎馬(馬と騎手)の埴輪
37. 騎馬(馬と騎手)の埴輪
38. 騎馬(馬と騎手)の埴輪
39. 騎馬(馬と騎手)の埴輪
40. 騎馬(馬と騎手)の埴輪
41. 騎馬(馬と騎手)の埴輪
42. 騎馬(馬と騎手)の埴輪
43. 騎馬(馬と騎手)の埴輪
44. 騎馬(馬と騎手)の埴輪
45. 騎馬(馬と騎手)の埴輪
46. 騎馬(馬と騎手)の埴輪
47. 騎馬(馬と騎手)の埴輪
48. 騎馬(馬と騎手)の埴輪
49. 騎馬(馬と騎手)の埴輪
50. 騎馬(馬と騎手)の埴輪
51. 騎馬(馬と騎手)の埴輪
52. 騎馬(馬と騎手)の埴輪
53. 騎馬(馬と騎手)の埴輪
54. 騎馬(馬と騎手)の埴輪



# 人物・動物埴輪群像

Man and Animal Haniwa Cluster

(A区形象埴輪配列区)

内堀の上に、円筒埴輪による区画(約11m×5m)を設け、54体ほどの形象埴輪(人物や動物・道具類をかたどった埴輪)が置かれていた。

この区画の最初の調査は1929(昭和4)年に行われたが、出土埴輪の約半分は失われた。ここに復元した埴輪は、現存資料や記録類、新たな出土資料を検討したうえ、想定復元したものである。

椅子に座った人々のグループ、立ち姿の人々のグループ、狩りをする人と動物、整列する人や動物のグループなどいくつかの場面が見られ、様々な儀礼の様子を表わしたものだと考えられる。東日本の人物・動物埴輪でも早い時期に属し、かつ最も内容が整った事例として知られている。

In this area, 54 haniwa (pottery in the shape of a man or an animal or a tool) were arranged. Some scenes were set by these haniwa. For example, a scene of a party where ladies are sitting on the chairs. A scene of a meeting of standing men. A scene of hunting wild boars to offer to the gods. A scene of horses and water birds standing reverently in line.

Though there are various views about the meaning that is expressed with the whole clusters of haniwa, they are considered to express the scenes of ceremonies that the king performs.



発掘された配列区

平成7年 南東より

墳丘部や内堀の中にある中島の法面には葺石が施されている











# 墳丘と葺石

Burial Mound and Covered Stones

墳丘は、堀を掘った土と近くから集めた土を盛り上げ、たたき締めて築かれた。斜面には、榛名山東南麓の川から採取した石により「葺石」が施される。

上段・中段の葺石は、やや石の密度が高い状態で施工され、下段の葺石は間隔をあけて省略していた。葺石のなかにみえる縦の石列は、一人ないし一班の作業単位（工区）だと考えられる。

各段の平坦面のうち中段平坦面には、玉石が敷かれていた。



墳丘下段斜面の葺石 縦の石列がみえる（発掘時）



葺石工事の様子を推定したイラスト







前方部から後円部を見る



左手前方の木々が密集した所が、墳頂に西光寺が建つ薬師塚古墳(前方後円墳)





後円部から前方部を見る



後円部から見る榛名山(ニツ岳)方面





この階段を下りた後円部内に船形石棺を安置した展示室が設けられている



後円部内にある石棺展示施設



石棺の手前の窪みは副葬品室 ↑



埋葬施設は、礫層に内蔵されるこの舟形石棺の他に竪穴式石槨があったという







中島と多数並べられた埴輪の数々



中島(なかじま)/古墳における祭祀の場と考えられるという

なか じま  
中 島  
Small mound in Moat

この古墳の内堀の中には4カ所の中島が造られた。内堀を掘った時に島の部分だけ残し、若干の盛り土をして2段に整えられた。回りには円筒埴輪が巡らされ、埴輪などの土器が多量に出土した。

中島の性格は、①古墳における祭祀の場

②近親者や従者の埋葬施設(陪塚)

などが考えられるが、いまだ明らかになっていない。



全貌をあらわしたくびれ部東側の中島



中島に並んでいた円筒埴輪



後円部方向から見た姿









真横から見る













参考ホームページ

<http://sgkohun.world.cocan.jp/GUNMA/gunmamati/hatiman.html>

<http://www.city.takasaki.gunma.jp/soshiki/ky-bunkazai/bunkazai/iseki/hodotako.htm>

<http://www.uraken.net/rail/travel-urabe28.html>

<http://members3.icom.home.ne.jp/voshi-cp/ghotoda.htm>

<http://paralleli.life.cocan.jp/kofunblog2/?p=46>

